

Dell Latitude 9410

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2020 年 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータのセットアップ	5
2 Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
3 シャーシの概要	8
左面図	8
右面図	8
上面図	9
前面図	10
底面図	11
シャーシのモード	11
4 キーボードのショートカット	13
5 Latitude 9410 の仕様	14
寸法と重量	14
プロセッサ	14
チップセット	14
オペレーティングシステム	15
メモリ	15
ポートとコネクタ	15
通信	16
オーディオ	17
ストレージ	17
メディアカードリーダー	18
キーボード	18
カメラ	18
タッチパッド	19
タッチパッドジェスチャ	19
電源アダプター	19
バッテリー	20
ディスプレイ	20
指紋認証リーダー	21
ビデオ	22
セキュリティ	22
セキュリティソフトウェア	22
コンピュータ環境	22
6 セットアップユーティリティ	24
ブートメニュー	24
ナビゲーションキー	24
ブートシーケンス	25
セットアップユーティリティのオプション	25
一般オプション	25

システム設定.....	26
ビデオ画面のオプション.....	28
セキュリティ.....	28
セキュア ブート.....	30
インテル ソフトウェア ガード エクステンションズのオプション.....	31
パフォーマンス.....	31
電源管理.....	32
POST 動作.....	33
管理機能.....	34
Virtualization Support (仮想化サポート)	34
ワイヤレスオプション.....	35
メンテナンス.....	35
システムログ.....	36
Windows での BIOS のアップデート.....	36
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	36
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	36
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	37
システム セットアップパスワードの割り当て.....	37
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	38
ExpressSign-in.....	38
7 ソフトウェア.....	42
Windows ドライバーのダウンロード.....	42
8 ヘルプ.....	43
デルへのお問い合わせ.....	43

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。
3. 画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。
 - ・ ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
 - ・ **メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
 - ・ インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
 - ・ Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。
4. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ



詳細

Dell 製品の登録

デルに、お使いのコンピュータを登録します。

Dell ヘルプとサポート

コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

SupportAssist

コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。

メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。

Dell アプリ



詳細

Dell アップデート

重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。

Dell Digital Delivery

さまざまなソフトウェアアプリケーション(購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど)を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

5. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

6. 詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

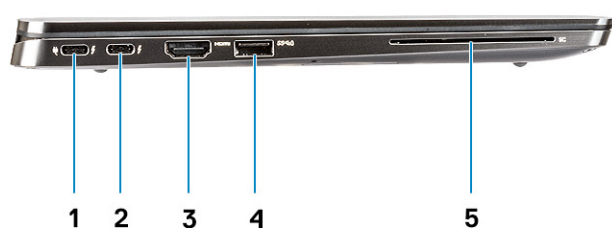
メモ: このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

メモ: 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows サーチに **回復** と入力します。
3. 検索結果で、**回復ドライブの作成** をクリックします。
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
4. **はい** をクリックして続行します。
回復ドライブ ウィンドウが表示されます。
5. システムファイルを回復ドライブにバックアップします を選択し、**次へ** をクリックします。
6. **USB フラッシュドライブ** を選択し、**次へ** をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. **作成** をクリックします。
8. **完了** をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『サービス マニュアル』で、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

シャーシの概要

左面図



1. USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3 および Power Delivery 対応)
2. USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3 対応)
3. HDMI 2.0 ポート
4. USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート (PowerShare 対応)
5. スマート カード リーダー (オプション)

右面図



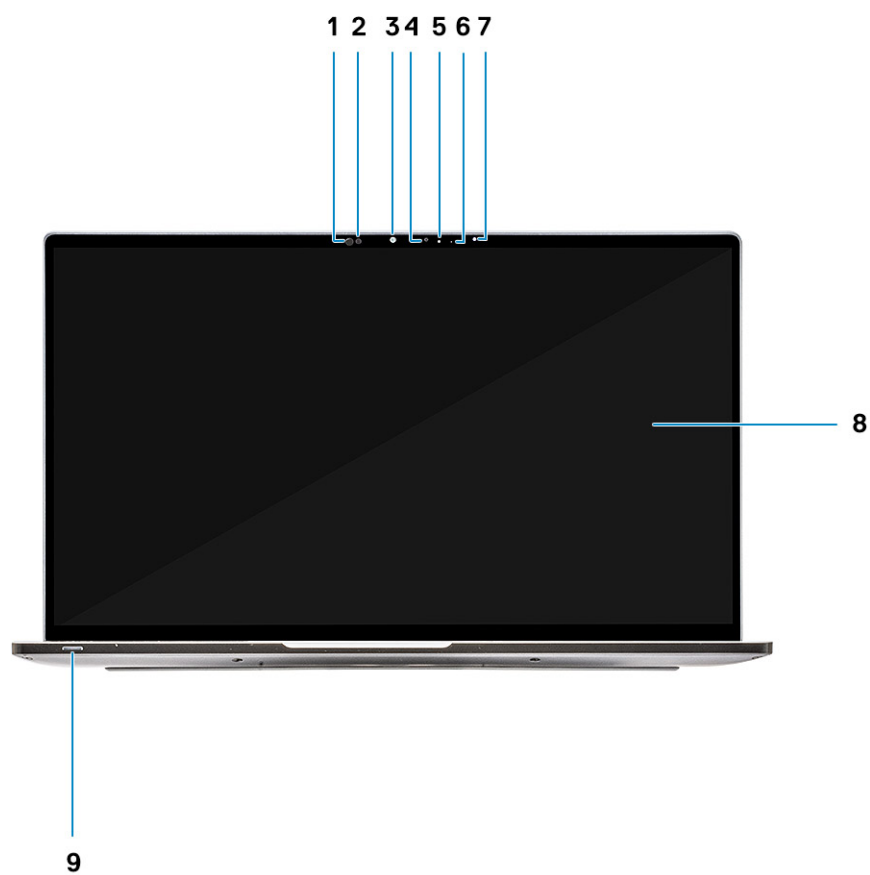
1. ユニバーサル オーディオ ポート
2. USIM カード スロット (WWAN のみ)
3. USD 4.0 カード リーダー
4. USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート (PowerShare 対応)
5. くさび形ロック スロット

上面図



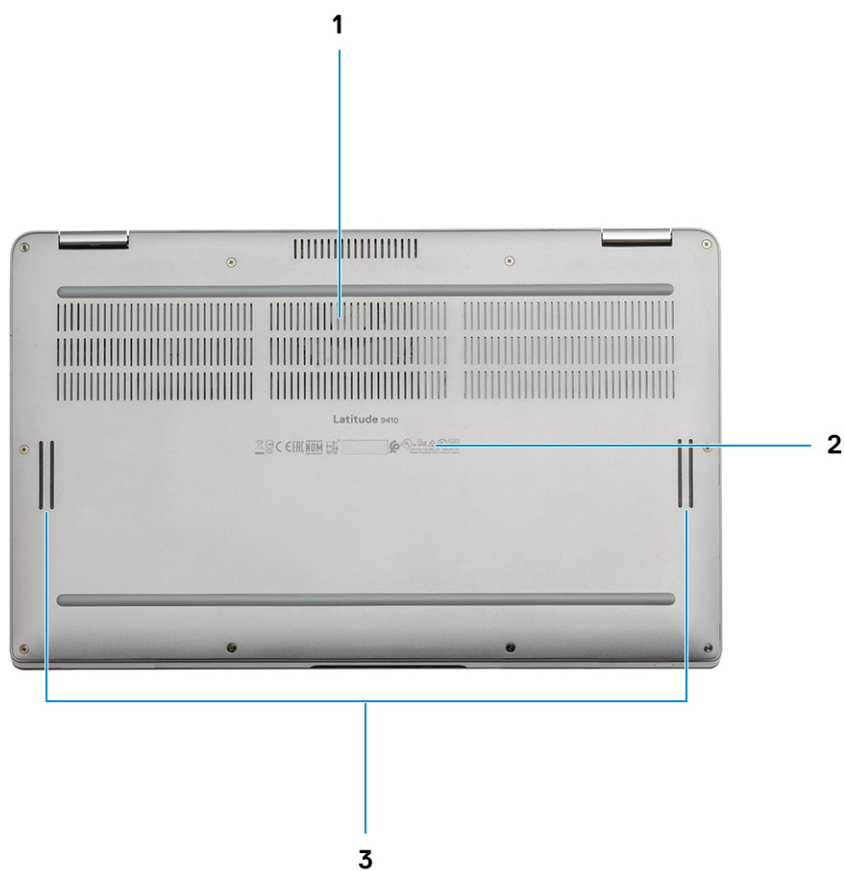
1. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン (オプション)
2. キーボード
3. NFC 対応タッチパッド (オプション)

前面図



1. 近接センサー レシーバー
2. 近接センサー エミッター
3. IR エミッター
4. 赤外線カメラ
5. カメラ ステータス LED
6. IR エミッター
7. ALS (周囲光センサー)
8. モニター パネル
9. バッテリー/診断ステータス LED

底面図



1. サーマル孔
2. サービス タグラベル
3. スピーカー

シャーシのモード

このセクションでは、Latitude 7400 2-in-1 でサポートされている各種のモード（スタンド、ノートブック、タブレット、テント）について説明しています。



キーボードのショートカット

① メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	ボリュームを下げる	F2 の動作
Fn+F3	ボリュームを上げる	F3 の動作
Fn+F4	マイクのミュート	F4 の動作
Fn+F5	キーボード背面ライト	F5 の動作
	① メモ: バックライトなしのキーボードには適用されません。	
Fn+F6	スクリーンの明るさを下げる	F6 の動作
Fn+F7	スクリーンの明るさを上げる	F7 の動作
Fn+F8	ディスプレイの切り替え (Win+P)	F8 の動作
Fn+F10	プリント スクリーン	F10 の動作
Fn+F11	ホーム	F11 の動作
Fn+F12	終了	F12 の動作
Fn+右 Ctrl	右クリックをエミュレートします	--

Latitude 9410 の仕様

寸法と重量

表 3. 寸法と重量

説明	値
高さ :	
前面	8.53 mm (0.34 インチ)
背面	14.89 mm (0.59 インチ)
幅	319.77 mm (12.59 インチ)
奥行き	199.90 mm (7.87 インチ)
重量	1.36 kg (3.0 lb)

 **メモ:** PC の重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

プロセッサー

表 4. プロセッサー

説明	値			
プロセッサー	第 10 世代インテル コア i5 (10210U)	第 10 世代 インテル Core i5-10310U	第 10 世代 インテル Core i7-10610U	第 10 世代インテル Core i7-10810U
ワット数	15 W	15 W	15 W	15 W
コア数	4	4	4	6
スレッド数	8	8	8	12
スピード	1.6 GHz ~ 4.2 GHz	1.6 GHz ~ 4.4 GHz	1.8 GHz ~ 4.9 GHz	1.1 GHz ~ 4.9 GHz
キャッシュ	6 MB	6 MB	8 MB	12 MB
内蔵グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス

チップセット

表 5. チップセット

説明	値
チップセット	インテル Comet Lake U (V1) PCH-LP
プロセッサー	第 10 世代インテル® Core™ i5/i7 プロセッサー
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	16 MB/32 MB

説明	値
PCIe バス	最大 Gen3

オペレーティング システム

- ・ Windows 10 Home 64 ビット
- ・ Windows 10 Professional 64 ビット

メモリー

表 6. メモリーの仕様

説明	値
スロット	オン ボード
タイプ	LPDDR3
スピード	2133 MHz
最大メモリー	16 GB
最小メモリー	8 GB
スロットごとのメモリー サイズ	8 GB、16 GB
サポートされている構成	・ 8 GB、LPDDR3、SDRAM、2133 MHz、オン ボード ・ 16 GB、LPDDR3、SDRAM、2133 MHz、オン ボード

ポートとコネクター

表 7. 外部ポートとコネクター

説明	値
外部：	
USB	・ 2 x USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート (PowerShare 対応) ・ 1 x USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Power Delivery/Thunderbolt 3 対応) ・ 1 x USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3 対応)
オーディオ	1 x ユニバーサル オーディオ ジャック
ビデオ	1 x HDMI 2.0
メディア カード リーダー	uSD 4.0
ドッキングポート	Thunderbolt
電源アダプターポート	4.50 mm x 2.90 mm DC 入力
セキュリティ	ウェッジ型セキュリティ ロック

表 8. 内部ポートとコネクター

説明	値
内部：	

説明	値
M.2	1 x M.2 2280 PCIe x 4 1 x M.2 2230 PCIe x 4
<i>i</i> メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、サポート技術情報記事 SLN301626 を参照してください。	

通信

ワイヤレス モジュール

表 9. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値	
Model number (モデル番号)	QCA61x4A	インテル AX201
転送レート	最大 867 Mbps	最大 2400 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz
ワイヤレス規格	- Wi-Fi 802.11b/g/a/n/ac - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac) - Wi-Fi 6 (Wi-Fi 802.11ax)
暗号化	128 ビット WEP - AES-CCMP - TKIP	64 ビット/128 ビット WEP - AES-CCMP - TKIP
Bluetooth	Bluetooth 5.0	Bluetooth 5.1

ワイヤレス ワイドエリア ネットワーク モジュール

表 10. WWAN モジュールの仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	Qualcomm Snapdragon X20 Global Gigabit LTE-A
フォーム ファクター	M.2 3042 Key-B の片面
転送レート	最大 1 Gbps DL/150 Mbps UL (Cat 16)
サポートされている動作時の周波数帯域	(1、2、3、4、5、7、8、12、13、14、17、18、19、20、25、26、28、29、30、32、38、39、40、41、42、43、46、66)、HSPA+ (1、2、4、5、6、8、9、19)
電源ユニット	DC 3.135 V ~ 4.4 V (標準 3.3 V)
温度	通常動作温度: -30°C ~ +70°C 拡張動作温度: -40°C ~ +85°C
アンテナ コネクター	WWAN メイン アンテナ x1 WWAN ダイバーシティー アンテナ x1 4x4 MIMO アンテナ x2
ウェイク オン ワイヤレス	対応
ネットワーク標準	LTE FDD/TDD、WCDMA/HSPA+、GPS/GLONASS/Beidou/Galileo

オーディオ

表 11. オーディオの仕様

説明	値
コントローラー	Realtek ALC3254-CG
ステレオ変換	対応
内部インターフェイス	ハイデフィニッション オーディオ インターフェイス
外部インターフェイス	ユニバーサル オーディオ ジャック
スピーカー	2 台
アンプ内蔵スピーカー	統合 2W (RMS) /チャンネル
外部ボリューム コントロール	キーボード ショートカット コントロール
スピーカー出力 :	
平均値	2 W
ピーク値	2.5 W
サブウーハー出力	非対応
マイクロフォン	デジタルアレイ マイクロフォン

ストレージ

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- ・ M.2 2230、128 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 SSD
- ・ M.2 2230、256 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 SSD
- ・ M.2 2230、512 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 SSD
- ・ M.2 2230、512 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 SSD
- ・ M.2 2230、1 TB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 SSD
- ・ M.2 2230、256 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 35 自己暗号化 SSD
- ・ M.2 2280、256 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 40 SSD
- ・ M.2 2280、512 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 40 SSD
- ・ M.2 2280、1 TB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 40 SSD
- ・ M.2 2280、2 TB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 40 SSD
- ・ M.2 2280、512 GB、Gen 3 PCIe x4、NVMe、Class 40 自己暗号化 SSD

表 12. ストレージの仕様

ストレージのタイプ	インターフェイスのタイプ	容量
M.2 Class 35 ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3 x 4	最大 1 TB
M.2 Class 35 SED ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3 x 4	最大 256 GB
M.2 Class 40 ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3 x 4	最大 2 GB
M.2 Class 40 SED ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3 x 4	最大 512 GB

メディアカードリーダー

表 13. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	SD カード リーダー
サポートされるカード	micro SD カード (USD)

キーボード

表 14. キーボードの仕様

説明	値
タイプ	・ 標準キーボード (バックライト付き)
レイアウト	QWERTY
キーの数	・ 米国とカナダ : 82 キー ・ イギリス : 83 キー ・ 日本 : 84 キー
サイズ	X = 19.05 mm キー ピッチ Y = 18.05 mm キー ピッチ
ショートカットキー	キーボードのキーの中には記号が 2 つ書かれているものがあります。そのキーを使用して代替文字を打つ、または二次機能を実行することができます。代替文字を打つには、Shift キーと希望するキーを押します。二次機能を実行するには、Fn キーと希望するキーを押します。 メモ: BIOS セットアップ プログラムでファンクション キーの動作を変更することで、ファンクション キー (F1 ~ F12) のプライマリ動作を定義できます。 キーボードのショートカット

カメラ

表 15. カメラの仕様

説明	値
カメラの数	1 回
タイプ	赤外線カメラ
場所	前面カメラ
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー
解像度	
カメラ	
静止画像	0.92 メガピクセル
ビデオ	1280 x 720 (30 fps)
赤外線カメラ	

説明	値
静止画像	0.23 メガピクセル
ビデオ	640 x 360 (15 fps)
対角視野角	
カメラ	77.7 度
赤外線カメラ	77.7 度

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

説明	値
解像度 :	
水平方向	1235
垂直方向	695
寸法 :	
水平方向	105 mm
垂直方向	60 mm

タッチパッドジェスチャ

Windows 10 のタッチパッド ジェスチャーの詳細については、support.microsoft.com にある Microsoft ナレッジベースの記事 [4027871](https://support.microsoft.com/4027871) を参照してください。

電源アダプター

表 17. 電源アダプターの仕様

説明	値
タイプ	65 W USB-C 90 W USB-C
直径 (コネクター)	Type-C コネクター Type-C コネクター
入力電圧	AC 100 ~ 240 V AC 100 ~ 240 V
入力周波数	50 ~ 60 Hz 50 ~ 60 Hz
入力電流 (最大)	1.7 A 1.5 A
出力電流 (連続)	20 V/3.25 A (連続) 15 V/3 A (連続) 9.0 V/3 A (連続) 5.0 V/3 A (連続) 20 V/4.5 A (連続) 15 V/3 A (連続) 9.0 V/3 A (連続) 5.0 V/3 A (連続)
定格出力電圧	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC 20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC
温度範囲 :	
動作時	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F) 0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) -40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

説明	値		
タイプ	4 セル リチウムイオン (52 WHr) (ExpressCharge 対応)	6 セル リチウムイオン (78 WHr) (ExpressCharge 対応)	長期間のライフ サイクルを備えた 4 セル リチウムイオン (52 WHr)
電圧	7.6 VDC	DC11.4V	7.6 VDC
重量 (最大)	0.23 kg	0.34 kg	0.23 kg
寸法 :			
高さ	250 mm	301.67 mm	250 mm
幅	85.8 mm	111.36 mm	85.8 mm
奥行き	4.99 mm	9.09 mm	4.99 mm
温度範囲 :			
動作時	充電時 : 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) 放電時 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)	充電時 : 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) 放電時 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)	充電時 : 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) 放電時 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)
ストレージ	-20 °C ~ 65 °C (-4 °F ~ 149 °F)	-20 °C ~ 65 °C (-4 °F ~ 149 °F)	-20 °C ~ 65 °C (-4 °F ~ 149 °F)
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。
充電時間 (概算)	3 時間 (PC の電源がオフになっている場合) i メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ を参照してください。	3 時間 (PC の電源がオフになっている場合) i メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ を参照してください。	3 時間 (PC の電源がオフになっている場合) i メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ を参照してください。
寿命 (概算)	300 サイクル (充電 / 放電)	300 サイクル (充電 / 放電)	300 サイクル (充電 / 放電)
コイン型電池	CR-2032	CR-2032	CR-2032
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。

ディスプレイ

表 19. ディスプレイの仕様

説明	Values
タイプ	FHD

説明	Values
パネルテクノロジー	広い視野角 (WVA)
輝度 (標準)	300 ニット
寸法 (アクティブエリア):	
高さ	173.95 mm (6.85 インチ)
幅	309.40 mm (12.18 インチ)
対角線	14 インチ
ネイティブ解像度	1920 x 1080
メガピクセル	2.0736
色域	72% NTSC 標準
PPI (1 インチあたりの画素数)	157
コントラスト比 (最小)	1000:1
応答時間 (最大)	35 ミリ秒
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度	80 度
垂直可視角度	80 度
ピクセルピッチ	0.161 x 0.161
消費電力 (最大)	1.80 W
非光沢 vs 光沢仕上げ	光沢
Touch のオプション	有

指紋認証リーダー

表 20. 指紋リーダーの仕様

説明	値
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	363
センサー領域	5.25 mm x 6.9 mm
センサーのピクセルサイズ	76 x 100

ビデオ

表 21. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス			
コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ	プロセッサ
インテル UHD グラフィックス	1 x HDMI 2.0	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Core i5/i7

セキュリティ

- ・ Trusted Platform Module (TPM) 2.0 FIPS-140-2 認定/TCG 認定
- ・ 電源ボタンに内蔵の Windows Hello 準拠の指紋認証リーダー (オプション)
- ・ タッチ式指紋認証リーダー (電源ボタンに内蔵)、Control Vault 3.0 Advanced Authentication (FIPS 140-2 Level 3 認定)(オプション)
- ・ 接触型スマート カード、ControlVault 3 Advanced Authentication (FIPS 140-2 Level 3 認定)(オプション)
- ・ タッチ式指紋認証リーダー (電源ボタンに内蔵)、接触型スマート カード、Control Vault 3 Advanced Authentication (FIPS 140-2 Level 3 認定)(オプション)
- ・ タッチ式指紋認証リーダー (電源ボタンに内蔵)、接触型スマート カード、非接触型スマート カード、NFC、Control Vault 3 Advanced Authentication (FIPS 140-2 Level 3 認定)(オプション)
- ・ 顔認識 IR カメラ (Windows Hello 準拠)、ExpressSign-in 搭載 (オプション)

セキュリティ ソフトウェア

- ・ Dell Client Command Suite
- ・ Dell BIOS 検証
- ・ Dell Endpoint Security および管理ソフトウェア (オプション)
- ・ VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード
- ・ Vmware Carbon Black Endpoint Standard および Secureworks Threat Detection and Response
- ・ Dell Encryption Enterprise
- ・ Dell Encryption Personal
- ・ Carbonite
- ・ VMware Workspace ONE
- ・ Absolute Endpoint Visibility and Control
- ・ Netskope
- ・ Dell Supply Chain Defense

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 22. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C (32°F) ~ 40°C (104°F)	°C ~ 65°C (149°F) °C (32°F ~ 未定°F)
相対湿度 (最大)	0.1% ~ 0.9% (結露なし)	0% ~ 0.95% (結露なし)
振動 (最大) *	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	140 G†	160 G†
高度 (最大)	0 m ~ 3048 m (32 フィート ~ 5518.4 フィート)	0 m ~ 10668 m (32 フィート ~ 19234.4 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セ ッ ト ア ッ プ ユ ー テ ィ リ テ ィ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- ・ RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- ・ システム設定情報の変更。
- ・ ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- ・ ブートメニュー
- ・ ナビゲーションキー
- ・ ブート シーケンス
- ・ セットアップユーティリティのオプション
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード
- ・ ExpressSign-in

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- ・ UEFI Boot :
 - ・ ウィンドウズブートマネージャー
- ・ 別のオプション :
 - ・ BIOS セットアップ
 - ・ BIOS Flash Update
 - ・ 診断
 - ・ Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。

キー	ナビゲーション
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス (例: 光学ドライブまたはハード ドライブ) から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- ・ F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- ・ F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ (利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ (利用可能な場合)
- ・ SATA ハード ドライブ (利用可能な場合)
- ・ 診断
 - ① **メモ:** 診断を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

- ① **メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 23. 一般規定

オプション	説明
システム情報	このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 このオプションは次のとおりです。 ・ システム情報 ・ メモリー構成 ・ プロセッサ情報 ・ デバイス情報
Battery Information	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプターの種類を表示します。
ブート シーケンス	PC によるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。 このオプションは次のとおりです。 ・ ウィンドウズブートマネージャー ・ ブート リスト オプション: UEFI はデフォルトで有効に設定されています。

オプション	説明
UEFI 起動パス セキュリティ	UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ Always, Except Internal HDD - デフォルト ・ Always ・ Never
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。

システム設定

表 24. システム設定

オプション	説明
SATA の動作	内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 無効 ・ AHCI - デフォルト
ドライブ	各種オンボード ドライブを有効または無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 ・ SATA-2 ・ M.2 PCIe SSD-0
SMART レポート	このフィールドでは、内蔵ドライブのハード ドライブ エラーを起動時に報告するかどうかを制御します。 このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB 設定	内部/内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。 このオプションは次のとおりです。 ・ Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) ・ Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする) すべてのオプションがデフォルトで設定されています。  メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。
Dell Type-C ドック設定	USB や Thunderbolt アダプターの設定とは関係なく、デルの WD および TB のドック ファミリー (タイプ C ドック) と接続できるようにします。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
Thunderbolt™ アダプターの設定	次の Thunderbolt オプションを有効または無効にすることができます。 ・ Thunderbolt (デフォルトで有効) ・ Thunderbolt の起動サポートを有効にする

Thunderbolt™の自動スイッチ

- ・ **Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot** (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする)

次のセキュリティレベルを設定できます。

- ・ **No Security** (セキュリティなし)
- ・ **User Authentication** (デフォルトで有効)
- ・ **Secure Connect** (セキュアな接続)
- ・ ディスプレイポートと USB のみ

このオプションは Thunderbolt コントローラーが PCIe デバイス エNUMERATION に使用する方式を設定します。

- ・ **Auto Switch** : BIOS はインストール OS のメリットを最大限に得られるように、Thunderbolt PC デバイス エNUMERATION モードを BIOS Assist と Native の間で自動的に切り替えます
- ・ **Native Enumeration** : BIOS は Thunderbolt コントローラーをネイティブモードにプログラムします(自動切り替え機能は無効)
- ・ **BIOS Assist Enumeration** : BIOS は Thunderbolt コントローラーを BIOS アシストモードにプログラムします(自動切り替え機能は無効)

 **メモ:** この変更を適用するには再起動が必要です。

USB PowerShare

このオプションは、USB PowerShare 機能の動作を有効または無効にします。

このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

オーディオ

組み込み型オーディオ コントローラーを有効または無効にすることができます。デフォルトでは **Enable Audio** オプションが選択されています。

このオプションは次のとおりです。

- ・ **Enable Microphone** (マイクroフォンを有効にする)
- ・ **Enable Internal Speaker** (内蔵スピーカーを有効にする)

このオプションは、デフォルトで設定されています。

キーボード ライト

このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。

- ・ **Disabled** : キーボードライト機能は常にオフまたは 0% です。
- ・ **Dim** : キーボードライト機能を 50% の輝度で有効にします。
- ・ **Bright** : キーボードライト機能を 100% の輝度レベルで有効にします。

Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)

この機能は、AC アダプターがシステムに接続されている場合の、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。

オプションは次のとおりです。

- ・ **5 秒**
- ・ **10 秒** (デフォルト)
- ・ **15 秒**
- ・ **30 秒**
- ・ **1 分間**
- ・ **5 分間**
- ・ **15 分間**
- ・ なし

オプション	説明
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボード バックライトのタイムアウト)	この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行している場合の、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。 オプションは次のとおりです。 ・ 5 秒 ・ 10 seconds (デフォルト設定) ・ 15 秒 ・ 30 秒 ・ 1 分間 ・ 5 分間 ・ 15 分間 ・ なし
タッチスクリーン	このオプションでは、タッチスクリーンの有効化または無効化を制御します。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
Unobtrusive Mode (控えめモード)	有効にした場合、Fn+F7 を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。Fn+F7 を押すと通常のオペレーションに戻ります。 デフォルトでは無効になっています。
指紋認証リーダー	指紋認証リーダーまたは指紋認証リーダー デバイスのシングルサイン オン機能を有効または無効にします。 ・ 指紋認証リーダー デバイスを有効にする : デフォルトで有効 ・ 指紋認証リーダーのシングル サイン オンを有効にする : デフォルトで有効
その他のデバイス	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 ・ Enable camera - デフォルト ・ Enable Secure Digital(SD) Card ・ セキュア デジタル (SD) カード起動 : 無効 ・ セキュア デジタル (SD) カード読み取り専用モード : 無効

ビデオ画面のオプション

表 25. ビデオ

オプション	説明
LCD の明るさ	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー (50% がデフォルト) と AC (100% がデフォルト) です。
Dynamic Backlight Control	このオプションは、パネルがダイナミック バックライト コントロールをサポートしている場合、この機能を有効または無効にします。

セキュリティ

表 26. セキュリティ

オプション	説明
管理者パスワード	管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。

パスワードを設定するには、次の項目を入力します。

- ・ **Enter the old password:**
- ・ **Enter the new password:**
- ・ **Confirm new password:**

パスワードを設定したら、**OK** をクリックします。

 **メモ:** 最初のログイン時には、[**Enter the old password:**] フィールドは [**Not set**] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。

システム パスワード

システムパスワードを設定、変更、削除することができます。

パスワードを設定するには、次の項目を入力します。

- ・ **Enter the old password:**
- ・ **Enter the new password:**
- ・ **Confirm new password:**

パスワードを設定したら、**OK** をクリックします。

 **メモ:** 最初のログイン時には、[**Enter the old password:**] フィールドは [**Not set**] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。

強力なパスワード

常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。

- ・ **Enable Strong Password**

このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

パスワードの設定

パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。

パスワードのスキップ

これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。

次のいずれかのオプションをクリックします。

- ・ **Disabled** - デフォルト
- ・ **Reboot bypass (再起動のスキップ)**

パスワードの変更

管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。

- ・ **Allow Non-Admin Password Changes**

このオプションは、デフォルトで設定されています。

管理者以外のセットアップの変更

管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップ オプションは Admin パスワードによってロックされます。

- ・ **Allow Wireless Switch Changes**

このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

UEFI カプセル ファームウェアのアップデート

システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。

- ・ **Enable UEFI Capsule Firmware Updates**

このオプションは、デフォルトで設定されています。

TPM 2.0 Security

POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。

このオプションは次のとおりです。

- ・ **TPM On** - デフォルト
- ・ **Clear (クリア)**
- ・ **PPI Bypass for Enable Command** - デフォルト
- ・ **PPI Bypass for Disable Command**
- ・ **PPI Bypass for Clear Command**

オプション	説明
	・ Attestation Enable - デフォルト ・ Key Storage Enable - デフォルト ・ SHA-256 - デフォルト
Absolute®	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。
OROM Keyboard Access	このオプションでは、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させることができるかどうかを設定します。この設定によって、インテル® RAID (Ctrl+I) またはインテル® マネジメント エンジン BIOS 拡張 (Ctrl+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。 オプションは次のとおりです。 ・ Enable ・ One Time Enable (1 回のみ有効) ・ Disable
管理者セットアップ ロック モード	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 ・ Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
マスター パスワード ロック アウト	マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。 ・ Enable Master Password Lockout このオプションは、デフォルトでは設定されていません。  メモ: この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。
SMM Security Mitigation	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 ・ SMM Security Mitigation このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

セキュア ブート

表 27. セキュア ブート

オプション	説明
セキュア ブートを有効にする	セキュア ブート機能を有効または無効にできます。 ・ セキュア ブートを有効にする - デフォルト
セキュア ブート モード	セキュア ブート操作モードを変更すると、セキュア ブートの動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。 いずれかのオプションを選択します。 ・ Deployed Mode - デフォルト ・ 監査モード
エキスパートキー管理	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 ・ カスタムモードを有効にする このオプションは、デフォルトでは設定されていません。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです。 ・ PK - デフォルト

オプション	説明
	・ KEK ・ db ・ dbx

インテル ソフトウェア ガード エクステンションズのオプション

表 28. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン オペレーティング システムのコンテキストでコードの実行や、機密情報の保存を行うためのセキュアな環境を設定できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 無効 ・ 有効 ・ Software controlled (デフォルト)
エンクレーブメモリ- サイズ	このオプションで、SGX エンクレーブ リザーブ メモリー サイズを設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 32 MB ・ 64 MB ・ 128 MB (デフォルト)

パフォーマンス

表 29. パフォーマンス

オプション	説明
マルチ コア サポート	このフィールドでは、プロセッサで1個のコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 ・ All — デフォルト ・ 1 ・ 2 ・ 3
インテル SpeedStep	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 ・ インテル SpeedStep を有効にする このオプションは、デフォルトで設定されています。
C ステータス コントロール	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 ・ C States このオプションは、デフォルトで設定されています。

オプション	説明
インテル®ターボ・ブースト™	このオプションでは、プロセッサのインテル® TurboBoost™モードを有効または無効にします。
ハイパースレッド コントロール	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 - 無効 Enabled — デフォルト

電源管理

表 30. 電源管理

オプション	説明
AC 動作	AC アダプターが接続されると PC の電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 Wake on AC (ウェイクオン AC) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
インテル Speed Shift テクノロジーを有効にする	このオプションを使用して、インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効に設定します。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
自動電源オン時刻	PC を自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。 このオプションは次のとおりです。 Disabled - デフォルト Every Day (毎日) Weekdays (平日) Select Days (選択した日) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
USB ウェイク サポート	USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。 Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする) Wake on Dell USB-C ドック このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
ワイヤレス通信の制御	このオプションを有効にした場合、システムの有線ネットワークへの接続を感知して、選択したワイヤレス通信 (WLAN および/または WWAN) を無効にします。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が有効化されます。 Control WLAN radio (WLAN 無線の制御) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
ブロック スリープ	このオプションでは、オペレーティング システムの環境でスリープに入ることを防ぐことができます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
ピーク シフト	ピーク シフト機能を有効または無効にすることができます。この機能を有効にすると、需要ピーク時の AC 電源の使用量を最小限に抑えることができます。バッテリーは、ピーク シフト開始から終了まで充電されません。 ピーク シフトの開始および終了時刻は、平日すべてに設定することができます このオプションは、バッテリーのしきい値 (15%~100%) を設定します。

オプション	説明
高度なバッテリー充電設定	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。 Advanced Battery Charge Mode は、平日すべてに設定することができます
プライマリー バッテリー充電設定	バッテリーの充電モードを選択することができます。 このオプションは次のとおりです。 ・ Adaptive - デフォルト ・ Standard : 標準速度でバッテリーをフル充電します。 ・ ExpressCharge : デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 ・ Primarily AC use (主に AC を使用) ・ カスタム Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。  メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。

POST 動作

表 31. POST 動作

オプション	説明
アダプターの警告	特定の電源アダプタを使用する場合に、システム セットアップ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 ・ Enable Adapter Warnings - デフォルト
有効な Numlock	システム起動時に Numlock オプションを有効または無効にできます。 ・ Enable Numlock - デフォルト
Fn ロック オプション	ホットキーの組み合わせ Fn + Esc で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。 ・ Fn Lock - デフォルト 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ ロックモード無効 / 標準 ・ Lock Mode Enable/Secondary—デフォルト
ファストブート	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ Minimal - デフォルト ・ Thorough (完全) ・ 自動
BIOS POST 時間を延長	プレブート遅延を追加で作成できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 0 seconds - デフォルト ・ 5 秒 ・ 10 秒
Full Screen logo	画像が画面解像度と一致する場合は、フル スクリーン ロゴを表示できます。

オプション	説明
	・ Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
警告とエラー	POST 中に警告またはエラーが検出された場合に、次のようなオプションを選択することができます。停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待機する、警告が検出されたときには継続するがエラーでは一時停止する、警告でもエラーでも継続する。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ Prompt on Warnings and Errors - デフォルト ・ 継続する警告 ・ 継続する警告とエラー
ライフ インジケータースの信号	このオプションは、POST 中にユーザーが聞いたり感じたりできる方法で、電源ボタンが認知されたことをシステムが示すことができますようにします。 ・ オーディオ ライフ インジケータースの信号を有効にする ・ ディスプレイ ライフ インジケータースの信号を有効にする ・ キーボード バックライト ライフ インジケータースの信号を有効にする

管理機能

表 32. 管理機能

オプション	説明
USB プロビジョン	有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。
MEBx ホットキー	このオプションは、システムを起動するときに、どの MEBx ホットキー機能を有効にするかを指定します。

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 33. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 ・ Enable Intel Virtualization Technology このオプションは、デフォルトで設定されています。
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 ・ Enable VT for Direct I/O このオプションは、デフォルトで設定されています。
Trusted Execution	このオプションでは、インテル® トラストッド エグゼキューション テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を、MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。  メモ: この機能を使用するには、TPM を有効にして起動しておき、また VT (仮想化テクノロジー) およびダイレクト I/O 向け VT を有効にする必要があります。

ワイヤレスオプション

表 34. ワイヤレス

オプション	説明
ワイヤレス スイッチ	ワイヤレス スイッチで制御できるワイヤレス デバイスを設定できます。 このオプションは次のとおりです。 ・ WWAN ・ GPS (WWAN モジュール) ・ WLAN ・ Bluetooth® すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
ワイヤレス デバイスを有効にする	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 ・ WWAN/GPS ・ WLAN ・ Bluetooth® ・ 非接触型スマートカード / NFC すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス

表 35. メンテナンス

オプション	説明
サービス タグ	PC のサービス タグを表示します。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
BIOS Downgrade	システム ファームウェアの以前のリビジョンをフラッシュすることができます。 ・ Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する) このオプションは、デフォルトで設定されています。
Data Wipe	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 ・ Wipe on Next Boot このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Bios Recovery	BIOS Recovery from Hard Drive - このオプションはデフォルトで設定されています。HDD または外部 USB ドライブのリカバリー ファイルから、破損した BIOS をリカバリーできます。 BIOS Auto-Recovery - BIOS を自動的にリカバリーできます。  メモ: [BIOS Recovery from Hard Drive] フィールドを有効にする必要があります。 Always Perform Integrity Check - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。

システムログ

表 36. システムログ

オプション	説明
BIOS events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

 **メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - ・ サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、送信をクリックします。
 - ・ [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

 **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。

5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の製品サポートページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、ファイルのダウンロードをクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。「**BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート (英語)**」

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

❗ **メモ:** ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。「[Dell Diagnostics Deployment Package \(DDDP \) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法](#)」

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ロゴが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB ストレージ デバイス**を選択し、[**Enter**]をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [**Enter**] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティーがロードされます。画面の指示に従います。



図 1. DOS の BIOS アップデート画面

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 37. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

⚠ **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

⚠ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

❗ **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは**管理者**パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、**セキュリティ**を選択し、**Enter** を押します。
セキュリティ画面が表示されます。

2. システム/管理者パスワードを選択し、新しいパスワードを入力フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([) (\) (]) (`)
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、パスワード ステータスが (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、**Enter** を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 ⓘ **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

ExpressSign-in

Dell Latitude システムでは、システムがオンまたはスリープモードの場合には、近接センサーが利用可能となります。近接センサーの有効な状態は **Near** と **Enable with external monitor** です。ノートパソコンがオンの状態で、充電残量が 30 分未満の場合、近接機能は自動的に無効になります。

Near 状態の ExpressSign-in 動作

次の表には **Near** 状態の動作を記載しています。

- ⓘ **メモ:** Dell ExpressSign-in のユーザー インターフェイスは、近接センサー機能です。
- ⓘ **メモ:** [ExpressSign-in] ウィンドウで、顔認識のセットアップフィールドの横にある **Go** をクリックし、[Windows Hello facial sign-in] オプションを開始およびセットアップします。

表 38. Near 状態の動作

システム状態	説明
オン/スタンバイ	システムがオンの状態で LED のソリッド ホワイト ライト が点灯しているとき、またはスタンバイ状態の時に、ユーザーがシステムのセンサーの FoV (視野) 内に入るとシステムはウェイクアップされます。 ⓘ メモ: センサーは、バッテリー持続時間が 30 分より少ない低電力状態からはシステムをウェイクしません。

システム状態	説明
消灯	メモ: センサーは、ハイバネーションおよび電源オフの状態からのシステムのウェイクをサポートしません。 ユーザーがセンサーの FoV (視野) 内にいても、電源の状態にかかわらず、システムをウェイクすることはありません。

外付モニターを使用している状態の ExpressSign-in 動作

[**ExpressSign-in enabled while connected to external monitor(s)**] で [**Yes**] を選択すると、外付モニターの接続中にも ExpressSign-in 機能の動作を維持できます。外付モニターの接続中に一時的に ExpressSign-in 機能を無効化するには、[**No**] を選択します。次の表には**外付モニターを使用している状態の動作**を記載しています。

表 39. 外付けモニターを使用している状態の動作

システム状態	説明
有	システムが外付けモニターに接続されている場合は、近接センサーは、ユーザーがセンサーの FoV 内かどうかをチェックします。
無	これがデフォルトの状態ですが、ユーザーがセンサーの FoV の外にいる場合でもシステム状態は変更されません。

外付モニターを使用している状態の ExpressSign-in のユーザーインターフェイス

1 台以上の外付モニターがシステムに接続されて **Near** または **Away** 状態が有効である場合、プライマリ モニターに **Dell ExpressSign-in** ウィンドウが表示され、**Yes** または **No** を選択して近接センサーを有効または無効にすることができます。

Yes を選択すると近接センサーは有効になります。**No** を選択すると、近接センサーは有効になりません。**Do not show again** チェックボックスをオンにすると、このオプションを再度手動で有効に設定するまで、「この機能を正しく動作させるには、ユーザーはセンサーの FoV の中にいる必要があります」というメッセージは表示されません。

メモ: 複数のモニターが接続されている場合、**Dell ExpressSign-in** ウィンドウは、システムに最初に接続された外付モニターにのみ表示され、それ以降に接続されたモニターには表示されません。

Dell ExpressSign-in の起動と Systray アイコン

Dell ExpressSign-in アプリケーションは、アプリケーションがシステムトレイに常時ある場合にのみ、自動実行機能をサポートします。Dell 近接センサー アプリケーションを終了した場合は、アプリケーションを再起動して、機能を手動で有効にする必要があります。Dell 近接センサーの起動後には、**Systray** アイコンを有効にして、システムのデスクトップから **Dell ExpressSign-in** ウィンドウを開くことができます。

Dell ExpressSign-in を起動するには、次の操作を行います。

1. **Windows Settings**] > [**System**] > [**Power & Sleep**] > [**Dell Proximity Sensor**] > [**Change PC behavior based on your proximity to the PC**] をクリックして **Dell ExpressSign-in** ウィンドウを開きます。

メモ: **Dell Proximity Sensor** ウィンドウは、システムがオン、またはスリープモードの場合に開くことができます。

2. **Settings** 画面の下部に表示される **Change PC Behavior based on your proximity to the PC** をクリックします。
3. **Systray** をダブルクリックして **Dell ExpressSign-in** ウィンドウを開くこともできます。
4. **Systray** を右クリックしてコンテキストメニューを表示します。

コンテキストメニューのオプションは次のとおりです。

表 40. コンテキストメニューのオプション

システム状態	オプション
Near および Away	システムから離れるときにシステムロックを有効にし、ディスプレイをオフにするには、[Away] を選択します。

システム状態	オプション
	システムから離れるときにシステム ロックを無効にするには、[Near] の選択を解除します。
Enable with external monitor(s)	[Enable with external monitor(s)] をオンにすると ExpressSign-in は有効になります。 [Enable with external monitor(s)] をオフにすると ExpressSign-in は無効になります。
Open application	オンにすると ExpressSign-in のデスクトップ アプリケーションが起動します。
Quit	ExpressSign-in のデスクトップ アプリケーションを終了し、 Systray アイコンをシステムから削除します。オペレーティング システムの設定ページから ExpressSign-in を再起動するか、または Search オプションを使用して ExpressSign-in を表示および起動します。

Dell ExpressSign-in の Field of View (FoV) 状態

Field of View (FoV) は、近接機能が有効になっている場合に、近接センサーが検出できる距離と角度を定義します。FoV には、範囲角度と範囲距離が含まれます。デルでは、近接センサーのパフォーマンスを最適にするために、ユーザーとノートパソコンのディスプレイの距離を 70cm にすることを推奨しています。

表 41. FOV の状態

フィールド名	説明
範囲角度	近接センサーは、対象を中心とした 27° の円錐状の範囲内でユーザーの存在/不在を正常に検知することができます。
範囲距離	近接センサーは、 100cm 以内の範囲でユーザーの存在/不在を正常に検知できます。

ロック タイマー

ロック タイマーは、ユーザーがシステムの前にいない、または FoV の範囲内にいないことを **Dell Express Sign-in** が識別するのに必要なおおよその時間です。この機能は、ユーザーが物理的に不在であることを認識して、システムをロックします。

ロック タイマーの値は、60 秒 (デフォルト)、90 秒、および 120 秒です。**Away** が **OFF** に設定されている場合、ロック タイマーオプションはグレイ表示されます。

サポートされているヒンジ角度

ExpressSign-in は、サポートされている 4 つのモードのヒンジ角度において、設定されたとおりに動作します。サポートされていないヒンジ角度の場合、ユーザーがセンサー FoV 内にいても ExpressSign-in は既存の状態を変更しません。システムがサポートされているヒンジ角度になると、ExpressSign-in は状態を変更し始めます。サポートされているヒンジ角度は以下のとおりです。

表 42. サポートされているヒンジ角度

システムの状態	サポートされているヒンジ角度	実例
クラムシェル	60° ~ 150°	



システムの状態

サポートされているヒンジ角度

実例

スタンド

210° ~ 300°



タブレット

非対応



テント

非対応



ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- ・ [Windows ドライバーのダウンロード](#)

Windows ドライバーのダウンロード

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **製品サポート**をクリックし、サービス タグを入力して、**送信**をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で確認してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. **ファイルのダウンロード**をクリックして、ドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブル クリックし、画面の指示に従います。

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国／地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国／地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。